

ごあいさつ

那珂川町長

川崎和郎



明けましておめでとございます。町民の皆さまには、那珂川町となって初めての新年を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

平成十六年十一月十六日、馬頭町・小川町合併協議会を設置し、短期間の間に進めてきた二町合併協議がととのい、平成十七年十月一日、新町「那珂川町」が誕生しました。まずは旧二町の融合と町民の一体感の醸成に最優先して取り組みたいと思っております。さて、昨年の国内のできごとを振り返ってみますと、紀宮様のご結婚という明るい話題もありましたが、JR西日本の尼崎列車脱線事故やビルの耐震強度偽造問題が発覚し、ホテルの営業停止やマンシヨ

ンの居住者を置き去りにした安全意識の欠如が大きくクローズアップされ、社会を揺るがす大問題に発展しました。県内では、今市市の小学一年生女児が殺害されるという痛ましい事件が起きてしまいました。改めて、「町民の生命と財産を守る責任の重大さ」を痛感したところであります。

町財政につきましては、依然とした景気の低迷により、国及び地方では税収不足による財源不足が解消されず、さらに三位一体の改革による地方交付税や補助金の大幅な削減は、新町那珂川町にとって大変厳しい状況にあります。それらを解消するため、行財政改革を強力に推進する「新町行財政改革大綱」を策

定し、財源の重点的・効果的な配分を図りながら財政運営の質的充実と効率化を目指します。さらに、「那珂川町振興計画」を策定し、少子高齢化に向けた福祉施策、あるいは環境対策、社会基盤の整備等、事業の展開を図ります。

観光面では、清流那珂川を中心とした四季折々の豊かな自然を生かした中で、広重美術館や栃木県立なす風土記の丘資料館を核とした観光事業を積極的に推進し、交流人口の増加に努めます。

産業面では、中山間地域総合整備事業等による農業生産基盤の整備を引き続き推進するほか、中小企業の支援、地場産業の育成を図ってまいります。

次にケーブルテレビ高度化事業ですが、平成二十三年のアナログ放送の終了に備えて、すべての地域で行政情報の発信や災害の緊急連絡放送など自宅に居ながら町の行政サービスが受けられるよう基盤を整備いたします。

また、生活環境整備の面では旧馬頭町の公共下水道整備事業を三月の供用開始に向け、引き続き推進いたします。

北沢地区に不法投棄された産業廃棄物の適正処理については、「環境と共生のまちづくり」を目指し、安全・安心の町づくりのため、地域住民や議会、関係者と協議のうえ、一日も早い完成を迎えるよう努力してまいります。

これからも「公聴・公開・公平」をモットーに町民の立場に立った、町民参加の町づくりを推進してまいりますので、なお一層のご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。

年の初めにあたり皆さま方のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げます。ごあいさつといたします。



歌川広重 「駿河不二ノ沼図」(双幅右・当館蔵)

新年の



那珂川町議会議長

大金伊一



歌川広重 「甲斐夢山裏不」(双幅左・当館蔵)

新年明けましておめでとございます。町民の皆さまには、健やかに新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日ごろから議会に対する暖かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、町政を取り巻く話題の中で、町村合併により新町「那珂川町」が誕生いたしました。市町村合併は、合併によって終わるものではありません。地域社会の安全、町民の皆さまが安心して生活できるまちづくりをいかに進めて行くかであります。

我が国の経済情勢は、景気の回復が鮮明になったと言われ、地方では、雇用情勢一つ取り上げても、依然として先行きが不透明な状況にあります。

国家財政も非常に厳しい中、我が那珂川町におきましても同様に厳しい財政運営を余儀なくされております。国庫補助金の削減、地方への税源移譲、地方交付税の見直しの三位一体改革の成果が、市町村にどのような形で降りてくるかが、我々にとっては切実な問題であり、小規模町村を取り巻く財政環境はますます多難であり、その舵取りも難しいものがあります。